SDGs に関するアンケート　結果

1　アンケート概要

（１）目的

「誰一人取り残さない」持続可能で多様性と包摂性のある社会の実現を目指して、2015 年９月の国連サミットで採択された「持続可能な開発のための 2030 アジェンダ」にて記載された 2030 年までに持続可能でよりよい世界を目指す国際目標である SDGs（持続可能な開発目標）について、市民の皆さんの認知度などを調査し、今後の対策に活用するため。

（２）対象

ｅモニター　２４４名

（３）回収数

１５６件（回収率　６３.９％）

（４）調査時期

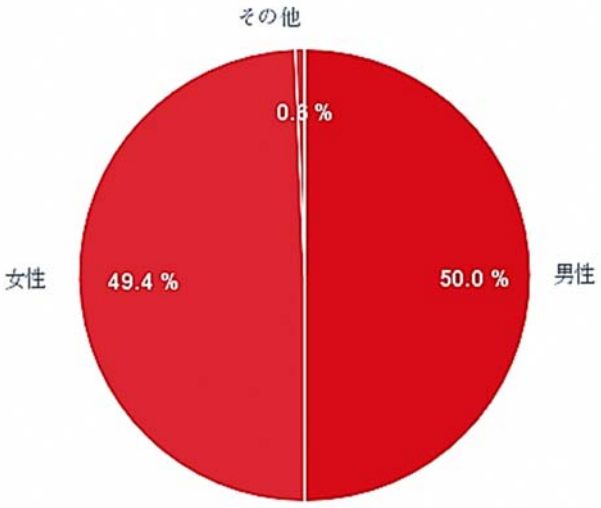
令和４年１０月３日（月）～令和４年１０月２６日（水）

※その他意見の類似意見は代表的な意見にまとめています。

2　アンケート

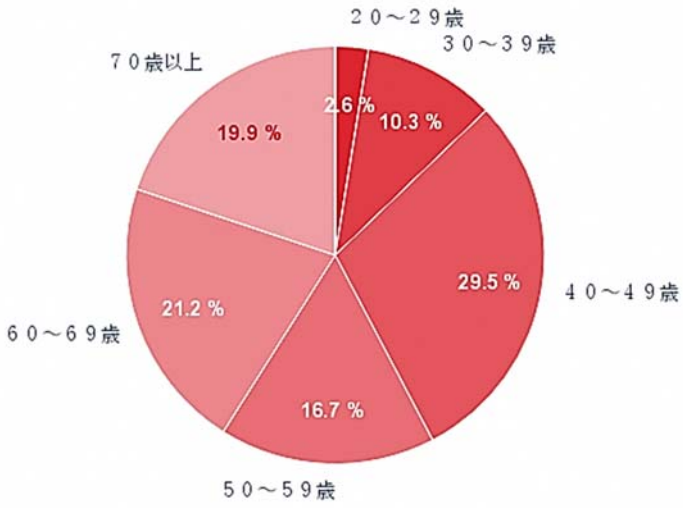
Ｑ１　あなたの性別をお伺いします。

n=156



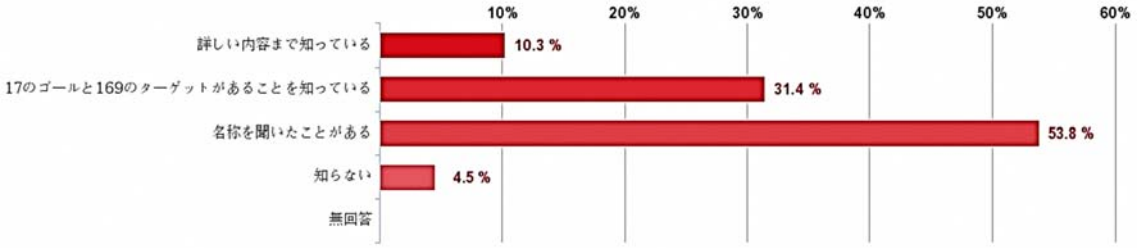
Ｑ２　あなたの年齢をお伺いします。

n=156



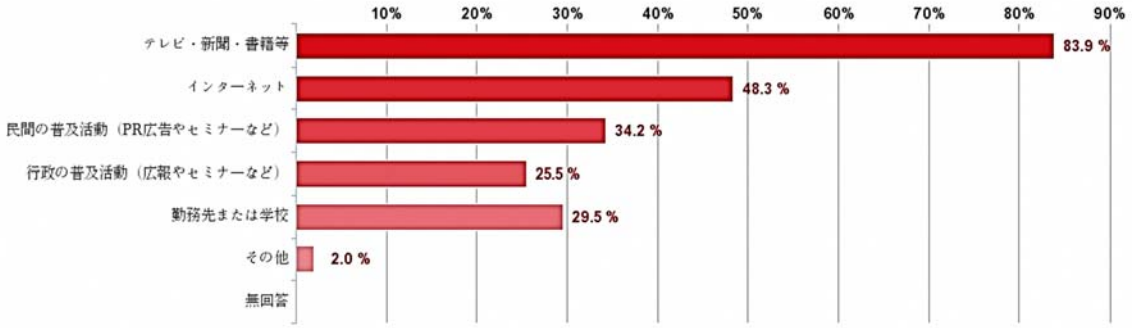
Q3　あなたは、SDG s （持続可能な開発目標）について知っていますか。

【全体】n=156



Q4　Q３で「知らない」と答えた方以外にお伺いします。
あなたは SDG s について、どこで知りましたか。あてはまるものをすべて選択してください。

【全体】n＝149

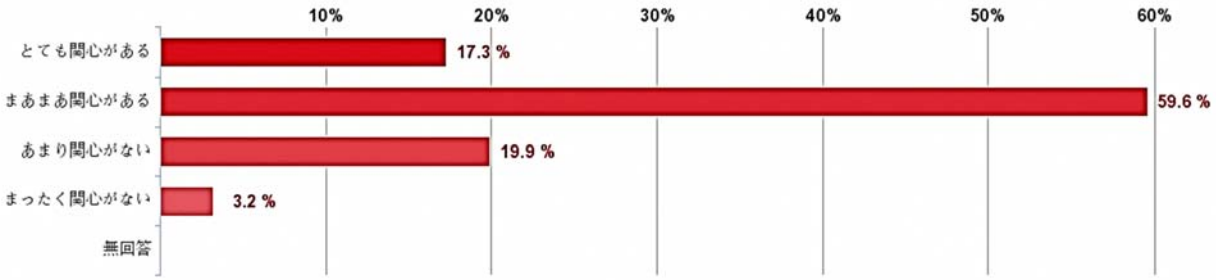


【その他】　３件

資格取得の為の講義
スクールサミット

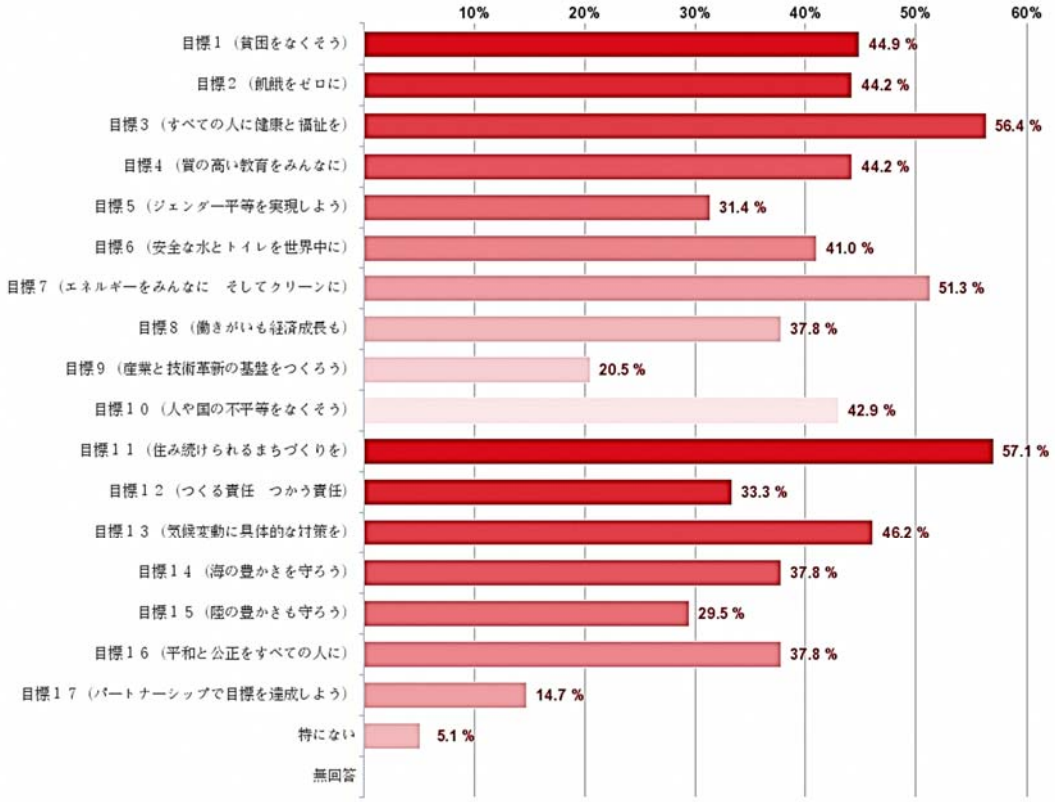
Q5　あなたは SDG s に、どの程度関心がありますか。

【全体】n＝156



Q6　あなたが、「熱中症」を予防するために行っていることをお伺いします。※複数回答可

【全体】n＝156



Q7　あなたが SDGs のゴール（目標）に関連して、取り組んでいることがあれば、自由に記載してください。
※ゴール（目標）に関連していれば、SDGs を意識せずに取り組んでいることでも構いません。

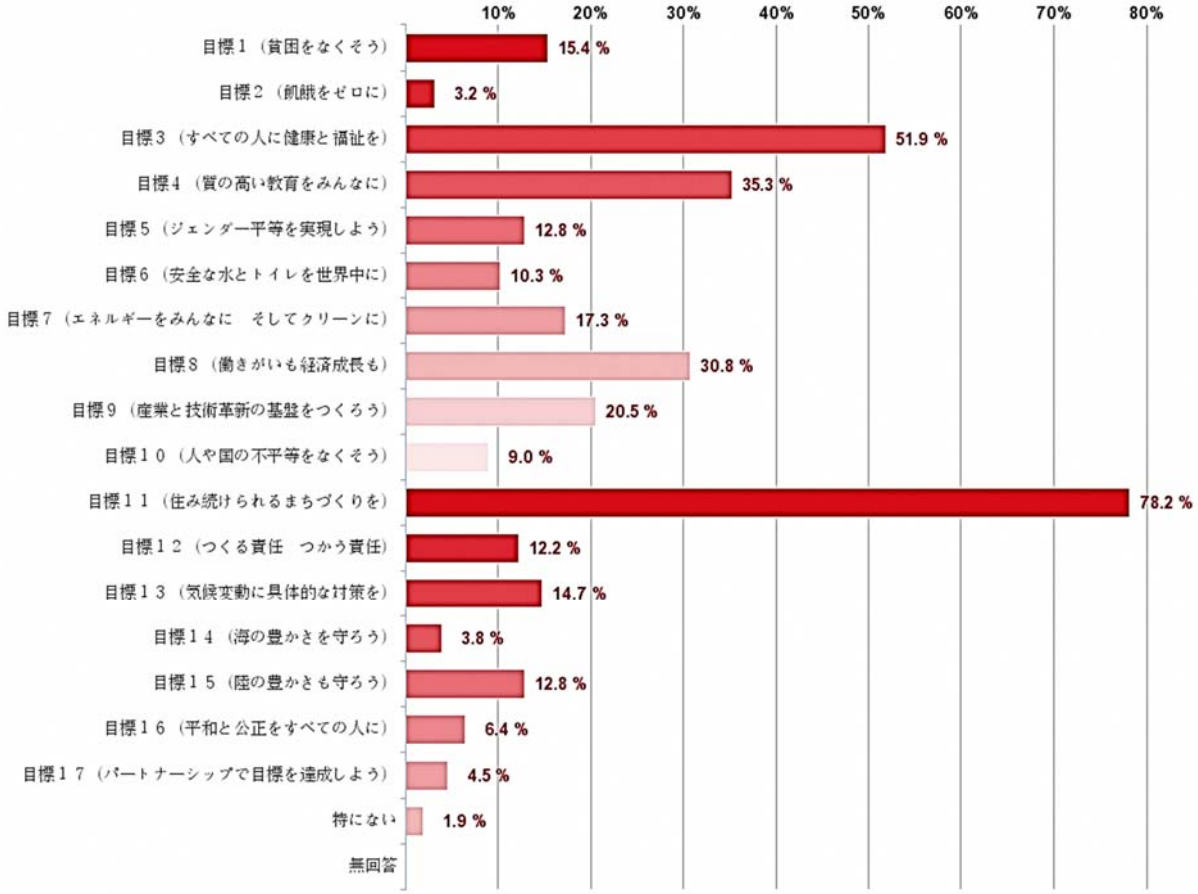
【全体】n＝88

できるかぎり物を捨てずにリサイクルに出して、リユース品を進んで買うようにしています。
エコバッグを使う
CO2 削減
スーパーの買い物時、賞味期限の一番短いものを選ぶ
自分にできることを無理のない範囲で続ける。過剰包装断る、ごみを減らす、募金する
自然を守る活動
世界の出来事にもニュースやネットの記事などから関心を持つ
リサイクルの推進
マイボトル持参
食品ロスを削減する
目標 12 の使う責任 食材を無駄にしないように賞味期限を意識して献立を決める。 衣料品や家具などは長く使えるか考える。長く使えるものであれば高額でも購入するが、必要以上に買わない。フリマアプリに出品している。
省エネを心がけている
まずは自分自身の健康と生活水準に留意して人の世話にならない様に したい。
ゴミ分別、太陽光の利用
日経や関連団体主催のネットセミナーになるべく参加し、サステナビリティの動向を把握するように努めている。
気がついたら電気を消す、人の意見を頭ごなしに否定しない。
特になし
子どもと話す時に、男らしい・女らしいという表現を使わないようにしている
働きがいとは何かを考えるようになった
様々なボランティア活動に参加する為の団体に加入してます。
散歩でごみ拾い
SDGs に直接関係することなのか分からないが、「クリック募金」と「チェンジ・ドット・オーグ」に参加しています。
SDG'S に取り組んでいる企業を応援（購買など）
資源を大切にすることと、次世代を守ることを意識した行動を心がけています。

「安かろう悪かろう」製品等へのアクセスや購入を極力控える。
生ゴミを堆肥にしています。不耕起栽培に関心があります
健康維持、街づくり、省エネ、街の美化
ゴミの分別と削減 途上国への物品寄付 ジェンダー偏見をなくす
新しい工場を作るときは、環境対策をします
オール電化住宅 蓄電池
目標 16　（安全な水とトイレを世界中に） 管理組合で給水施設管理や雑排水管清掃、給排水管更新工事検討等に取り組んでいます。 又、我が家の飲み水は煮沸消毒を利用し、ヤカン２杯分も常備しています。（水とトイレは生命維持に不可欠なので永遠のテーマだと思います。）
目標１１の 2 障害のある人も誰もが移動の制限の無い公共交通機関を白井市にも実現できるよう、大学院でユニバーサルデザイン車両の研究と、市民活動をしています。
市民外国人に日本語学びの支援
貧困への理解を深め、生涯教育について学んでいる
地産地消
・ジェンダー平等→人への見方を男女としてよりも人として考えていくように、自身の子どもたちに教え続けた。 ・貧困をなくそう→ユニセフ募金や社協へ食料品のを渡すようにしている。 ・健康と福祉を→国境なき医師団への募金
持続的な農業
ゴミの分別に気を付ける、フェアトレード商品を買うようにする。

Q8　ＳＤＧｓの 17 のゴール（目標）のうち、白井市がこれからより一層取り組むべきと考えるゴール（目標）があれば、３つまで選んでください。

【全体】n＝156



Q9　今までのアンケート項目以外で、あなたがＳＤＧｓについて考えていることなどがありましたら、自由にお書きください。

【全体】n＝53

一人暮らしをしている人に寄り添った考えを持つ
最初から最終処理迄がトータルとして SDGs かどうかを考えるべき。
気候変動対策は喫緊の課題
SDGs という言葉に踊らされず、今までも、これからも、やるべきことを淡々とやっていれば良いのでは無いでしょうか。SDGs を達成するための広報活動や事業展開、それにかけられる労働力や人件費。 「やった感」は出たとしても、最終的に何の成果に結びつくのか、立ち止まって考えてほしいです。
市民参加のイベントがあるとうれしいです
誰も取り残されない社会にするため、誰もが安心して働けて 1 人で生活できるぐらいの給料を得られる社会になって欲しい。 本人の能力が不足している場合でも、職場の仕組みや AI などを活用して補うことができれば人手不足も解消するのではないか。
まずは世界平和に向けて 世界中でなんとか戦争の ない世の中をしていく努力を すべき。
環境対策のイメージが強く、本来の意味と違ってきていると感じる
ぜひ白井市で無人公共バスを走らせて下さい。
SDGｓが旗印、お題目のように盛り上がっているのは日本だけのよう。・・ウォッシュにならないよう、白井市の特色、実効性のある中長期施策、予算付け、企業との連係を図ってもらいたい。 最近の話ですがキャンプ道具や PC をバラして鉄、アルミ、電子基板等に分別しました。白井市内には意外にもリサイクル業者が多くあり都市鉱山になるかと２カ所巡りましたが、回収してくれるのは鉄、アルミのみ。しかもどちらも中国系の方が運営し、回収、分別の仕方が雑で適正に再資源化されるのか気になりました。一方電子基板の方は厚木にある日系の会社までわざわざ持参。買取り後は秋田の会社に送られ都市鉱山としてリサイクルされることが確認できました。使った資源を適正に循環させる街、「作る責任使う責任」なども白井市の地域性として課題の一つと感じました。
いろいろな世代の交流の出来たらいいなと思います。
個人ができることを、具体的に子どもや地域に周知する事が大切。
白井市で他に無いようなアイデアで SDGs を探す。
目標としてはいいが、実行しようとすると、金銭面などのいろいろな課題が出て、難しいと思う。
SDGｓに関して、無関心な人が多すぎるし、政府はあまりにも口だけで何もしていない

ように感じている。
流行語になり過ぎてる ゴールが多すぎる 政府も霞ヶ関も自治体も発信が少ない
子供にやさしい・高齢者にやさしい町づくり
具体的な目標数値で効果や結果がわかるとより推進されるのでは？
白井市は豊かな緑と資源に囲まれたまちであると日々感じています。今あるものを活かしつつ、すべての人が心身ともに豊かに暮らしていけるまちづくりを、老若男女問わず全体で考えていく機会が平等にあればいいなと思います。
市で管理している公共設備の適切な管理・維持とその予算の使い方
会社では始まった当初より大きく取り上げられていました。数年前からは TV などでもよく聞きますが、もう取り組みが始まって 7 年、残り 8 年という時期です。　課題は山積みだと思います。 例えば市で取り組むのであれば、持続可能な定期的なイベント(エコマラソン印旛のような)開催はどうでしょうか？　また、環境については笠井市長が 2050 年までにゼロカーボンシティを目指す宣言をされたころから市政に関心を持っています。さらにプロのアドバイザーの意見を取り入れ、市民の見えるところにゼロカーボンシティ宣言をアピールしたほうが良いのではないでしょうか？ CO2 の排出を減らすエコカーへの補助は、東京などでは自治体からも出ます。 市民が自分達の意識でエコカーに変えて行くのと、市が補助金を出して、推奨してエコカーに変えていってもらうのとでは大きく違うと思います。　また、大阪の電車の中吊り広告ではある区が LGBT の受け入れ(戸籍の承認など)をアピールする広告を出していました。 若者の間では正しい教育がされて LGBT への理解は進んでいるところではありますが、大人に対してこそ理解を広めて、我が市としては受け入れる姿勢を見せるのはいかがでしょうか？
消費者がゴミを減らそうにも、メーカー側が、パッケージをもっと簡素化したりしないとなかなか減らないなと思ったりする。 学校の図工で、使用済みペットボトル等でおもちゃを作っても、結局は分別が大変なゴミになって、何かモヤモヤする。　気候変動は深刻で、早く皆でもっと積極的に具体的に取り組まなくてはいけないと思う。
あまり意識はしなかったが、自分の行動が SDGs に関わっていることを認識した。
空き家、古いものの有効活用を促進する。安心な情報交換の環境を発信して欲しい
白井市在住でも買い物は近隣の市外。白井市でお金を使えるモールや商業施設を作るべき。魅力的な図書館など、白井の注目スポットを作るべき。
SDGs と言われてもあまりピンと来ませんし持続可能な開発目標と言われても分かるようでよくわかりません。例えば地球温暖化を防ぐと言われれば普通は協力しようと思うでしょうし、海山の自然を守ろうと言われればそうだよなと思います。目標の幅が広すぎあまりに抽象的なので五里霧中、霧の中に迷い込んだようです。白井市はあまり欲張らず重点を絞って呼びかけてほしいなと思います。
細かな事でも継続的に実践していくこと。

一人ひとりの心がけが大事と思います。
一時の流行りで盛り上がりすぎず、できることからコツコツと続けていって欲しいです
わかりにくいために、浸透しておらず、名称だけが一人歩きしている印象。
世界規模で地球の温暖化が止めて欲しい
社会全体でも注目されているので、身近なところでも出来ることは、やっていきたい
多岐に渡りすぎ、教育の場や行政では、お題目を唱える事が目的化してしまうんじゃないの？ と危ぶみます。できることを一つ継続することを、個人も組織も大事にしましょう。
17 のゴールと 169 のターゲットはとても覚えきれませんが、世の中のために良いことは自分の日常の判断の中で意識して、生活しています。
白井市の再エネや温暖化対策に対する取り組みは遅れていると思う。実際に具体的な取り組みを行うとお金がかかる。率先してやらないと、国からの補助金等はどんどんなくなってしまい、自ら首を絞めてしまうことになると思う。
福祉サービスの充実を検討して欲しいです。
①印西市（千葉ニュータウン中央駅周辺等）のように太陽光発電システム導入、市内の空き地等に風力発電所設置 ②無電柱化促進でより一層災害に強いまちづくり
食品ロスをなくす
SDGs という言葉はここ数年で急に取り上げられてきた印象がある。2030 年以降も今後も恒久的に取り組むべき内容のものであるという教育、広報も重要だと思う。
高齢者にも学ぶ機会を提供いただけるよう、市としても、ご検討よろしくお願いします。
SDG s という外来のお仕着せのことばではなく、昔からある地に足の着いたことばに落とし込むべきではないかと。
学校で投資の教育が始まるが、教育現場では具体的にこのようなものへ投資してはいけないと教えることができない。 また、投資教育を受けていない親には子供の間違った投資を止めることができない。よって子供だけではなく親にも質の高い教育は求められる。（これは IT 教育が始まったときも同様でネットリテラシーを親が持っていない為子供が危険にさらされるケース） 貧困家庭は平均的家庭に比べ親が投資や IT に対する知識に触れることがほとんどないため教育格差またそれによる貧困格差が大きくなる。
皆が安心して暮らせる街造りをして欲しい
白井市の維持発展のための移動手段の維持